

## 平成 21 年度ユニバーサルデザイン (UD) 教育の取組

1 学校名	武雄市町立西川登小学校		
2 所在地	武雄市西川登町神六 2 0 5 8 4		
3 校長名	大久保 美奈子		
4 学級数 児童生徒数	6 学級 88 人	5 実施学年 児童生徒数	2 年 8 人

### 6 取組のねらい

- ・ ユニバーサルデザインとは、何か、どんなものがあるかを知る。
- ・ 学校内を車椅子に乗って疑似体験することで、車椅子を使っている人が、困っていることや便利だと思ふことを考える。

### 7 取組の実際 (写真等を入れ具体的な様子がわかるようすること)

- (1) ユニバーサルデザイン (UD) とは、赤ちゃん、お年寄り、体の不自由な人、外国の人などすべての人が使いやすいように作られた施設や道具・マークであることを知らせる。
- (2) UD 紙芝居「健太の日曜日」を読む。内容は、サッカー好きの男の子が足を骨折し、車椅子で遊園地に行き遊ぶまでに、いろいろな困ったことに出会う内容である。「健太の日曜日」で、車椅子の男の子が困っていることを振り返らせる。
- (3) 実際に、2 人組になり車椅子に乗って、校内を歩かせる。



入口が狭くて、うまく通れるかな。

廊下に物があると通りにくいね。



坂道は、押すのがきついよ。

坂道は、こわいね。

がたがたで進めないよ。



外してしまえばいいかな。

(4) 車椅子を使う人のための施設が学校にあるか見つけさせる。



ここは、車椅子のためにあったのね。



児童玄関のほかにもスラロープがありました。

エレベーター（中には車椅子のマークとボタンや鏡がついている。）  
みんなのトイレ（手すり・斜めになった鏡・ドアの下のほうに  
ついている鍵・具合が悪くなった時に押すボタン）  
体育館玄関のスラロープとてすり

(5) 感想を書かせる。

- ・ はじめて車いすにのったけど、レールや緑のマットの上は、ゴトゴトしてこわかった。車いすの人は、こわくないのかな。
- ・ 坂道やろう下の狭いところは、車いすを押していくのが、むずかしかった。
- ・ 学校には、車いすの人が困らないようなことがたくさんあった。エレベーターの中に鏡がついているわけが分かった。
- ・ 「みんなのトイレ」には、たくさん手すりがついていたり、鏡がななめについていたりした。

8 取組の成果と課題

- ・ 「健太君の日曜日」の紙芝居を見たことで、車椅子の存在を身近に感じる事ができ、子どもたちも真剣に考えることができた。
- ・ 実際に車椅子で体験をし、始めは車椅子に乗れることを楽しんでた。しかし、入口が狭かったり、でこぼこ道ではうまく進まなかったりすることで、車椅子を使っている人が困ることを感じる事が出来た。また、学校には、車椅子を使う人のためのユニバーサルデザインがあることを知る事が出来た。
- ・ 車椅子を使う人のためのユニバーサルデザインは多くあるが、施設だけでなく、周りの人が優しい気持ちを持つことがもっと大切であることを道徳の授業で取り上げたい。
- ・ ユニバーサルデザインが、学校だけでなくいろいろな所にあることを知らせ、見つける活動も取り入れるともっと良かった。

